

アプリケーション保護ソフトウェア

Single Server Protection for Linux

シングルサーバー環境のアプリケーションの監視と復旧を実現し、可用性を向上

Single Server Protection for Linux(以下SSP)は、LifeKeeperのHA機能をシングルサーバーで利用することを可能としたソフトウェアであり、物理環境、仮想環境、クラウド環境のいずれにおいても利用が可能です。

1 シングルサーバーの可用性向上を低コストで実現

HAクラスターシステムと同等のアプリケーション監視機能とリカバリ機能をシングルサーバーで可能とします。物理環境、仮想環境(注1)、クラウド環境(注2)に対応しており、シングルサーバーが動作する環境を選びません。

注1: VMware vSphere、KVMに対応
注2: Amazon EC2に対応。その他は順次対応予定

2 あらゆるアプリケーションの稼働状況を監視

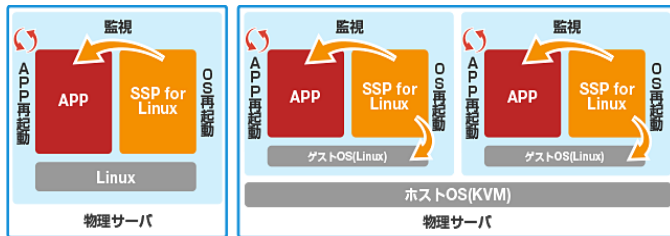
Oracleをはじめとする主要なアプリケーションやサービスの監視と復旧を標準でサポートします(「裏面:監視対象アプリケーション一覧」参照)。ユーザ固有のアプリケーションもGUIベースのツールで簡単に監視と復旧の設定が可能です。

3 GUIベースの管理コンソールとコマンドラインで包括的なシステム管理を実現

視認性と操作性に優れたGUIコンソールでの直観的なシステム状態監視に加え、コマンドラインインタフェースを利用した管理機能も提供。運用管理ツールや、仮想環境の基盤管理ソフトウェアとの連携においても高い親和性を発揮します。

物理サーバー、仮想サーバーのOSのアプリケーション監視と復旧

OS上のアプリケーションを監視し、障害検出後、アプリケーション再起動、OS再起動などの復旧処理を実行します。



SSP for LinuxはOS上のアプリケーションを監視しシステムの可用性を向上します。サーバー単位、リソース単位で動作設定することができます(マルチレベルポリシー)。これにより、同一サーバー上で実行されている障害となっていない他のサービスを継続しながら、可能な限り障害となっているサービスを復旧させることが可能となります。

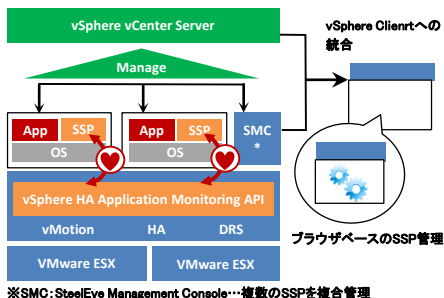
アプリケーション障害を検知した後の動作として次の4つを選択することができます。

- ▶「アプリケーションの再起動」処理だけを行う
- ▶「物理マシンの再起動」、あるいは「仮想マシンの再起動」処理だけを行う
- ▶「アプリケーションの再起動」を試み、失敗した場合に「物理マシン」または「仮想マシンの再起動」を行う
- ▶アプリケーション障害の検知をコンソール、およびログに通知するだけで再起動処理は行わない(メンテナンスモード)

vSphere HAとの連携

vSphere HA、vCenterと密接な連携

VMware社との協業により、仮想環境上でのアプリケーションの高可用性とシンプルな運用管理を実現しました。vSphere HA、vCenter(またはvSphere Client)と密接に連携することで、仮想マシン内のミッションクリティカルなアプリケーション保護やvSphere

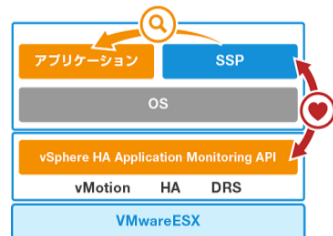


Client経由で統合管理をご提供します。さらに互換性の問題なしにVMware toolsのすべての機能を有効に活用することができます。

vSphere HAと融合してアプリケーションを保護

vSphere HAはゲストOSを監視し、SSPはゲストOS上のアプリケーションを監視しながら連携することでシステムの可用性を向上します。SSPはサーバー単位、リソース単位で設定可能な様々なレベルで動作設定することができます(マルチレベルポリシー)。これにより、同一サーバー上で実行されている障害となっていない他のサービスを継続しながら、可能な限り障害となっているサービスを復旧させることができます。アプリケーション障害を検知した後の動作として次の4つを選択することができます。

- ▶「アプリケーションの再起動」処理だけを行う
- ▶vSphere HAの「仮想マシンの再起動」処理だけを行う
- ▶「アプリケーションの再起動」を試み、失敗した場合に「仮想マシンの再起動」を行う
- ▶アプリケーション障害の検知を通知するだけで処理は行わない



Single Server Protection for Linux

可用性のレベルと対応製品

OSの動作環境と可用性のレベルによって適材適所に製品を選択することが可能です。

1. SSP for Linuxによるシングルノードプロテクション

HAクラスターほどの可用性は不要だが、アプリケーションの動作状況を監視し、アプリケーション障害時に迅速な復旧を実現したい場合に有効。

2. LifeKeeper for Linux によるHAクラスター構成

アプリケーションの監視・復旧だけでなく、OSやサーバー障害に起因するアプリケーション停止やサービス停止時の迅速なサービスの復旧を実現したい場合に有効。

可用性とレベルの指標	SSP for Linux	LifeKeeper
アプリケーション障害によるサービス停止の検知と復旧	◎	◎
障害検知から復旧までに要する時間(RTO)	△ (OS再起動、App再起動)	◎ (他ノードへ切り替え)
物理サーバー、仮想サーバーの障害対応	△ (VMware vSphereと連携)	◎ (他ノードへ切り替え)
OS障害によるシステム停止の検知と復旧	×	◎ (WDT機能)
監視対象	○ ネットワーク、 ファイルシステム、 アプリケーション	◎ ネットワーク、 ファイルシステム、 アプリケーション、 OS、サーバー

監視対象アプリケーション一覧

SSPには標準で各種アプリケーションを監視するオプションが含まれており、これにより監視用スクリプトを作成することなく、簡単に短時間でアプリケーションを監視することができます。

監視対象アプリケーション	Single Server Protection for Linux
Oracle	◎
Apache Web Server	◎
DB2	◎
MySQL	◎
PostgreSQL	◎
Sybase ASE	◎
Postfix	◎
Samba	◎
NFS Server	◎
Network Attached Storage	◎
WebSphere MQ	◎
ユーザ固有アプリケーション	◎

※上記に記載されていないソフトウェアでもご要望システムがございましたら弊社までお問い合わせください。

Single Server Protection v9.1の新機能

■Quick Service Protection

専用のARKが用意されていない場合でも、LifeKeeper for Linux v9.1からは、新機能"Quick Service Protection"を利用することにより、GUI上での簡単な設定のみでLinux上の一般的なサービスをLifeKeeperの保護対象とすることが可能となりました。
(専用ARKが用意されているアプリケーションは対象外となります。)

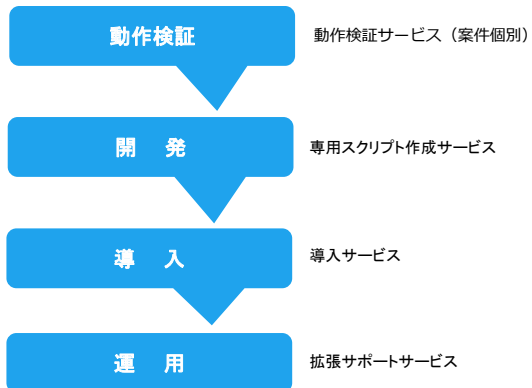


■LifeKeeper APIs

"LifeKeeper API for Monitoring"は、外部システムからLifeKeeperの状態を参照することが可能なAPIです。各種統合運用管理ツールからこのAPIを呼び出すことにより、それらのツールの画面上でLifeKeeperを含めたシステム全体の一元的なモニタリングが可能となり、特にクラウド環境や大規模システムにおける運用性の向上に貢献します。

プロフェッショナルサービス

お客様にとって最適なシステムを実現できるよう、製品ご購入前のお客様、また製品をご購入後のお客様へLifeKeeper / DataKeeperのプロフェッショナルサービスをご提供します。システムの基本構想から設計・開発、導入、運用に至るまで、専任のエンジニアによる様々な支援をご用意しています。動作実績のない環境への導入の場合は、案件個別の動作検証サービスとして承ります。



詳細情報はこちら ▶ <http://sios.jp/products/lkdk/>

LifeKeeper®は、SIOS Technology Corp.の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。記載の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。製品の仕様、価格などは予告なしに変更されることがあります。販売会社からお買い上げの場合、販売会社の保守サービスが適用となる場合があります。